#### 慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	カール・マルクス著 マルクス=エンゲルス全集刊行会訳 資本論 (第一分冊)
Sub Title	
Author	飯田, 裕康
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1961
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.54, No.8 (1961. 8) ,p.730(120)- 731(121)
JaLC DOI	10.14991/001.19610801-0121
Abstract	
Notes	新刊紹介
Genre	Journal Article
	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610801-0121

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

#### 大原總一郎著

### 『化学繊維工業論』

化学工業は今日のいわゆる「産業構造の高 の構造を大きく変化させてきた。この比較的 の構造を大きく変化させてきた。この比較的 の構造を大きく変化させてきた。この比較的 の構造を大きく変化させてきた。この比較的 あたらしい産業、しかもきわめて急速なテン あたらしい産業、しかもきわめて急速なテン あたらしい産業、しかもぎかけであり、直接 の構造を大きく変化させてきた。この比較的 の構造を大きく変化させてきた。この比較的 で、これまで商品学的説明や部分的な業界の で、これまで商品学的説明や部分的な業界の で、これまで商品学的説明や部分的な業界の のでは少なかった。

この書は、その意味で、化学繊維工業の諸問題についていままでにない、技術的・歴史的・資料的に内容の豊富な書である。それはなによりも著者が倉敷レーヨンの社長の位置にあり、経験と集大成された資料を駆使してにあり、経験と集大成された資料を駆使している。

地位・役割が概括され、二・三・四・五章で、まず第一章緒論において、この産業の特色・

価構成、財務構成、企業資本充実の諸問題が、 展、さらに化学繊維の価格形成のうえで重要 野である絹人絹織物業との関連、系列化の進 (価格) 問題、十章において、加工工業の分 八章は、消費の面から、 術的特質、加工技術の変化が説明され、七・ 資料・文献がつづく。 本文のほか、詳細な索引・付属統計表・参考 企業経営の視点から考察されている。以上の な取引所の機能と役割がとりあげられる。十 易市場の問題点が検討される。九章は原料 る。六章は、 章は化学繊維工業の資本と経営として、原 ・合成繊維) わが国の化学繊維工業(レ 化学繊維の生産技術の進歩と技 の歴史とその特色がのべられ 他繊維との競合、貿 1

本書はもともと著者が東京大学で行なったのよしである。いわゆる「産業論」として、のよしである。いわゆる「産業論」として、のよしである。いわゆる「産業論」として、のよしである。いわゆる「産業論」として、のよしである。いわゆる「産業論」として、のよしである。いわゆる「産業論」として、のよしである。いわゆる「産業論」として、のよしである。

文五〇二頁・付録一三四頁・九五〇円) 業の全貌を把握するのに他に類のない著書で じて本書は、多面的な性格をもつ化学繊維工 観的見通しについて多少のものたりなさを感 維産業全体の将来、などの諸問題の関連・客 下位加工分野の「二重構造」依存の現状、 あるといえる。(東京大学出 ある著者の、その立場からする種々の「発言」 じさせる。しかし、この産業をになう地位に とみられる諸点は、きわめて示唆にとみ、総 のつっこんだ分析や、 ピック ・ビジネスの間 版会・A5 価格形成、 の寡占的

### —佐藤 芳雄—

## 刊 行 会訳カール・マルクス書

# 『資本論』(第1分冊)

三部よりなっている『資本論』は、マルクス類ない難解さということではなかろうか。全をれを読みながら常々感じることは、その比

った『資本論』の訳者たちも、 ことは否定出来ない。今度、新たな訳業のな ルクス経済学研究-の訳業に、わが国における資本論研究 うとする為の企図からであるとともに、多く 語をつうじてマルクスの思想を正しく伝えよ すでに数種に及ぶ訳業があり、それらが日本 版本をもつことになった。わが国においても く伝えようと、『資本論』 は刊行以来幾多の 服し、マルクスの云わんとするととをより良当の覚悟を要求する。かかる「難解さ」を克 内容そのもののもつ奥行きの深さは読者に相 体を統一している独自の論理とそれからする も(あるいは全体的にも云えることだが)全 は非常な努力を要する。 抜書きがそのまま入ってきており、それらを 一貫した・統一的な論述として理解すること とくに第二、三部においては草稿ないし彼の のような姿をとるにいたった。したがって、 **う形で残され、エンゲルスの助力を得て現行** 自身の手で仕上げられた処は第一部のみにす 第三部は草稿ない の発展が貢献している また第一部において の現われとして、かかる過去の し未定稿とい

必要があろう。

その歴史をさらに深く回顧するとともに、そ 働運動・社会主義運動の一世紀の歴史でもあ 論研究の一世紀にわたる歴史は、そのまま労 本論』が書かれたように、以後の資本論研究 しい毎日を送りつつ、病いと闘いながら『資時期であり、その主要なる指導者としての忙 筆時代がまさに国際労働運動史上最も重要な 死 れらへの反動=弾圧の中で遂行された。資本 の歴史は国際労働運動・社会主義運動及びそ 一〇〇周年を迎えるわけである。資本論執 六年である。従って数年後にわれわれは刊行 そして現行の第一部が刊行されたのは にたずさわった時期は一八六〇年頃から彼の さて、 ゆく手をみつめなくてはなるまい。 た。いま、最新版『資本論』を手にして、 (一八八三年) まで約二〇年間にわたる。 マルクスが『資本論』に関する仕事 一八六

ーニン研究所編纂『マルクス・エンゲルス全し、現在刊行中のマルクス・エンゲルス・レある東独デイーツ社版をテキストとして訳出新訳は、現行アドラツキー版、最新版本で

る点にも、 はなかろうか。(大月書店・国民文庫版・二 者達の意図はある程度まで成功しているので 巻末に人名文献索引がつけられている。 部・向坂両氏のごとき独自の解釈によらな き処は、テクニカル・ター に両氏の訳の長所をとり、 郎両氏のものがあるが、それぞれ訳文に特 экономи. 1960-61) の 訂正と 注解とを取入 ркс; Капитал. 八九頁・一五〇円) のタームが用いられていることである。また している努力がみられる。特に留意されるべ では、日本語として通じるということを目標 徴があり、それが難点ともされてきた。新訳 集』第二三—二五巻所収『資本論』(K. Ma-れ、その他各国語版本が参照されている。 学界での永年の論争の成果としての共通 すぐれた訳本として長谷部文雄、 読み易い Критика политической 『資本論』 をめざした訳 無理のないものに ムの訳が、長谷 向坂逸 现

一飯田 裕康-

1111